

✿ スプーン・お箸について ✿

1月より、2歳児いちごぐみの子どもたちはお箸を始めたいと思いますが、給食時の様子を見ていますと、スプーンを上手で持って食べている子の方が多いです。手を添えて持ちかたを正してあげると、正しく持てるようになるのですが、時間が経つと上手持ちに戻ってしまっています。2本のお箸を使うのはとても難しいことです。スプーンやフォークを使っても食べこぼしが多かったり、手を使ってしまうお子さまにはまだ早いかなと思います。焦って始めてしまうと箸を使うことで上手く食べられなくなり、食事の時間が嫌いになることもあります。一斉に始めるのではなく、スプーン・フォークが正しく持てるようになり、バーン持ちでしっかり持って食べられるようになったお子さまから順にお箸で食べるようにしていきます。担任よりお声がけ致しますのでそれまでは、お箸はお家に置いておいてください。

一番大切なことは、「おいしく食事ができること」です。まずは子どもたちが、「お箸を使ってみよう」と思えるように園だけではなく、お家での食事の時にもスプーンを持ちかた・食べかた食べる時のマナーなど、ももぐみ・みかんぐみの子どもたちも見ていただきたいと思います。一度ついてしまった癖はなかなか直すことが大変になります。スプーン・お箸の持ち方や正しい姿勢で食事がとれるようにご家庭と連携を取りながらすすめていきたいと思っています。

* 移行への流れ *



【手づかみ】 ⇒ 【上手持ち】 ⇒ 【下手持ち】 ⇒ 【バーン持ち】
 スプーンを上からグーの手で握る スプーンを下からグーの手で握る 下手持ちの手から人差し指と親指のみ開きます

0歳児 ももぐみ 食べさせてもらうことを主にメニューにより手づかみ食べやつまんで食べる
 ↓
 上手持ちで食べる (手や指を使う経験)



1歳児 みかんぐみ 月齢により個人差も大きく手づかみ食べ・上手持ちから始める



↓
 上手持ちで上手にスプーンを口に運ぶ

0.1歳児はスプーンを口に運ぶ前にスプーンを反してしまい、こぼしてしまう子が多いです。園では反さないように手を添え“くるりんしないよ”と助言しています。

2歳児 いちごぐみ 下手持ち → バーン持ち → お箸始める



- ※ お箸を購入される方は参考にして下さい
- ☆ プラスチック製のものより木製の方がすべりにくいので上手につかむことができます。
- ☆ 子どもの手のひらより3cm位長いものが適しています。

☆ 早朝保育のほのぼの ☆

「ピピしようね」と言うと検温すると分かっている 0歳児 A ちゃん。検温が終わるとアルファベットの型はめパズルに一目散。

保育士:「Bくん(2歳児)、Aちゃんのパズル一緒にしてあげて欲しいな。」

Bくん:「いいよ!」

保育士:「ありがとうね」

Bくん:「見て見て!!これはP!なんかさ、笛みたい。ピーピーのP!」と嬉しそうにPのパズルを横向きにして笛を吹く真似をするBくん。(かわいい♡)

保育士:「すご〜い!ほんとだね!笛みたいだね!」次々とパズルをすすめていくBくん。それを見ていたAちゃんはPのパズルを手を持ちずーっと眺めている…

保育士:「AちゃんピピのPだよ!ここにおいてごらん。」するとAちゃんは♡♡♡そのPのパズルを自分の服の中に入れて脇に挟みました。(かわいい) (笑) なんともほのぼの癒された朝の時間でした。



フルーツぐみ発表会

子どもたちは絵本やお歌が大好きです。保育士の声やピアノの音に合わせて身振り手振りで体を動かしたり、声を出したり…とてもかわいい姿を見せてくれます。おともだちへの関心も深まり、関わりも増えてきました。おともだちと一緒にがいい!おともだちと同じことがしたい!!…という姿も見られます。一つ、また一つとできることが増えてきた子どもたち、“できた!!”の喜びは自信に繋がっています。心も体も大きく成長した子どもたち、この一年での成長した姿を保護者の皆様に見ていただき、共に喜び合えること大変嬉しく思います。当日は、たくさんのお客さまを前にびっくりして普段の姿を見ていただけないかもしれませんが、大好きなおともだちと一緒に大きな舞台上に立つ小さな子どもたちの一人ひとりの頑張っている姿・かわいい姿を見ていただきたいと思っています。短い時間ではありますが、どうぞ楽しみにしててください。

いちごぐみ 体育参観のおしらせ

11月からはじまりました体育、子どもたちは体を動かすことが大好きです。子どもたちは、無理なく達成感を味わうことができるような楽しい運動あそびを毎回体感し、体育をとても楽しみにしています。体育は高橋先生そして、水・金は、木村奨梧先生・稲内基先生が担当します。どうぞよろしく願いいたします。

まだ先のことでありますが、3月5日(水)進級説明会の前に体育参観を行います。詳細は改めてお知らせいたします。子どもたちが先生の話の聞く真剣な表情や思いっきり体を動かしているキラキラとした表情を見ていただきたいと思っています。自然な姿を見ていただきますのでこっそり参観ですが楽しみにしててください。

